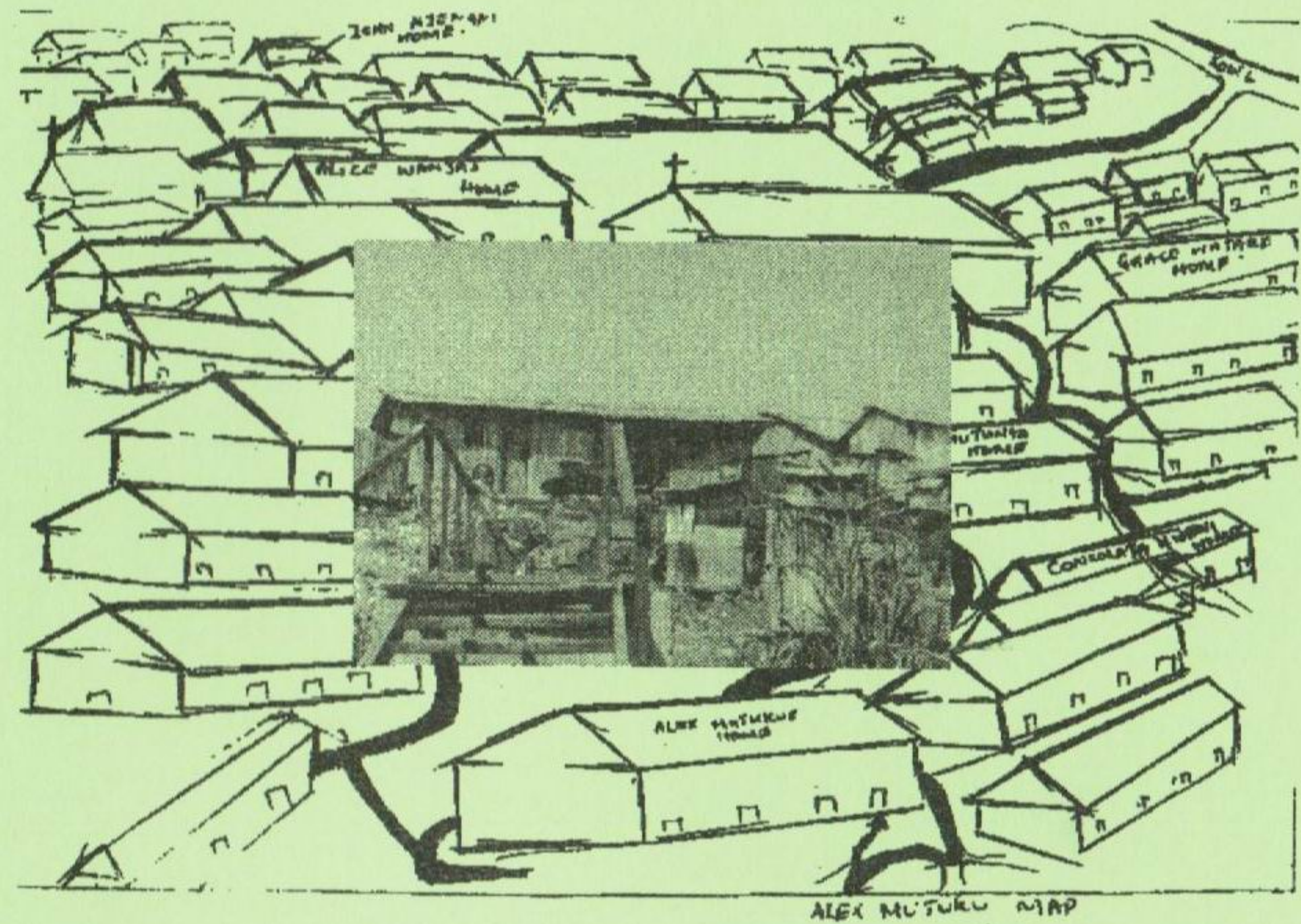


# ケニアのスラムの暮らし

そして そこに住む高校生のこと



## もくじ

はじめに…	2
ケニアのこと…	3
首都ナイロビとスラム…	4
スラムの生活…	5
スラムの家と村の家…	6
村からナイロビのスラムへ…	7
暮らしノート…	9
結婚・家族構成・子どもたち…	11
収入と支出…	13
ケニアの教育…	15
高校生活—学費…	16
教科と年間スケジュール…	17
1日の時間割…	18
学校へ行く理由と中退・転校する理由…	19
高校生と家族のプロフィール…	20
調査を終わって…	26



内容・資料の一部は、  
「ルーベン奨学金基金  
1998 年度活動報告」  
(1998 年 12 月 22 日発  
行)と転載しています。

## はじめに

CanDo は主にケニアの村落地域(ムインギ県)において小学校支援活動をしている NGO です。村での活動を開始するきっかけとなったのは、首都ナイロビのスラムにおける厳しい生活とそれでも続く村からの人々の流入に対して何が出来るか、という問いかけでした。

ナイロビの人口 200 万人の半数が住むといわれるスラムのうち、南東の工業地帯にあるルーベン地区に日本の NGO が運営していた(現在は、アイルランドの修道会に移っています)小学校があります。そこで初の卒業生が出たときに高校進学への道を開く奨学金制度が発足しました。しかし2年目の一昨年12月に突然の打ち切りが奨学生たちに通達されました。より豊かな地域社会を作っていく担い手となる子どもたちがのびのび学び続けるようにしたい、とかかわりのあった CanDo の会員たちは考えました。募金活動を始めて運営を行なってきました。

そして、国内において、より多くの人にスラムの状況を知っていただきたいと考え、昨年 11 月から調査員を派遣し、スラムの暮らしと出身地の村の様子を調べてきました。その報告を中心にしてこの冊子をまとめました。

1999 年 4 月

CanDo—アフリカ地域開発市民の会

代表 永岡 宏昌



## ケニアのこと\*



ケニアの小学校の地図(左)を広げると、アフリカ大陸はまん中、その上にヨーロッパがあります。

面積が日本の1.5倍(人口は4分の1)、58万km<sup>2</sup>のケニ

アは大陸の東の角(つの)になったところの南にあり、南東はインド洋に面しています。海岸沿いに7世紀ごろからアラブ人が進出して、モンバサなどの港町が通商で栄えました。

19世紀の末にイギリスの保護領となって過ごしやすい気候の内陸の高地への入植が進みました。1920年に植民地となり、63年に独立。翌年、初代大統領にケニヤッタが就任しました。第2代は78年、副大統領のモイが就任。アフリカ民族同盟(KANU)の1党支配が続きましたが、92年に複数政党制による選挙が実施されました。コーヒー、紅茶が主な輸出作物で、製造業も成長しています。観光は一番の外貨の獲得源です。

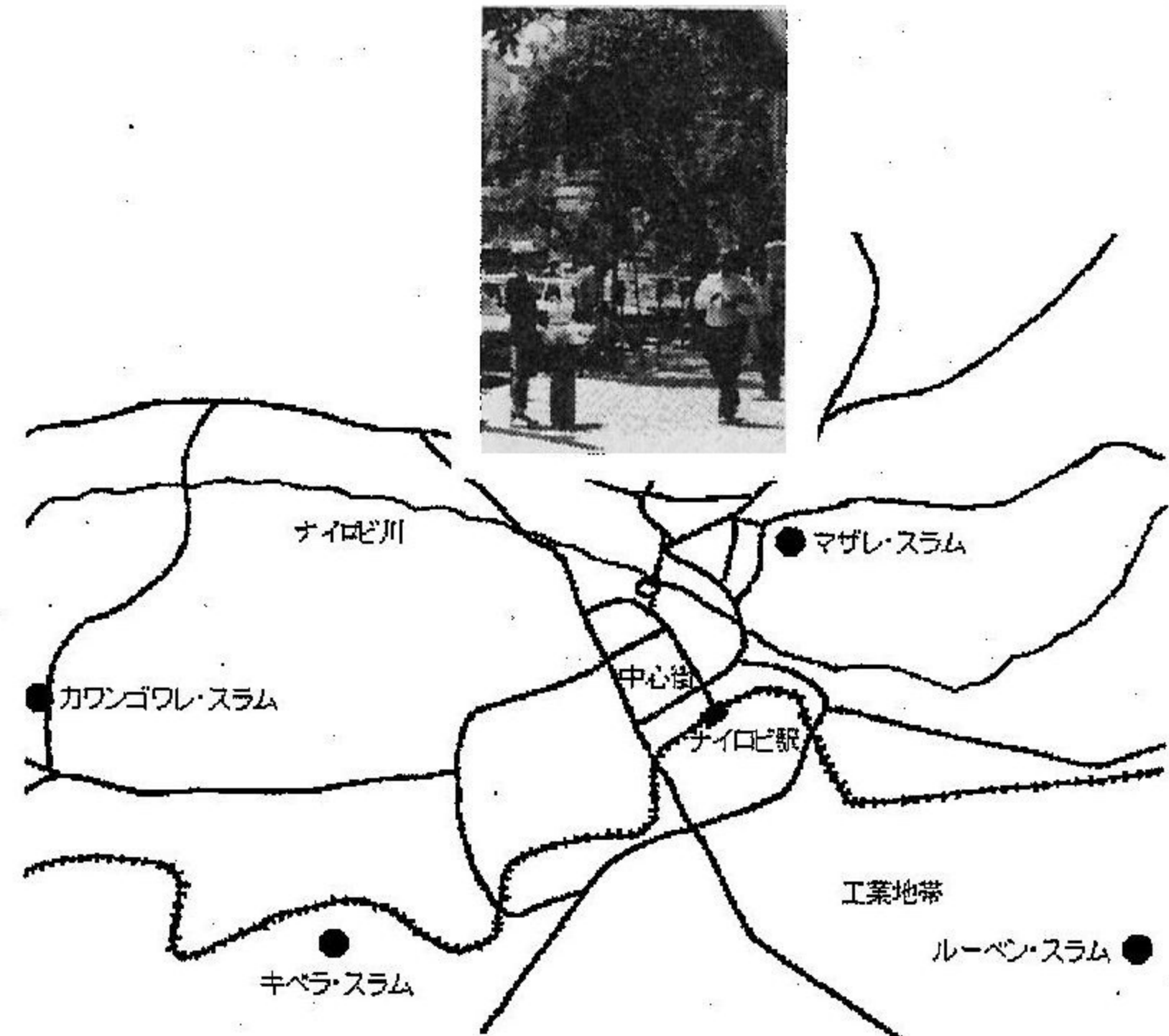
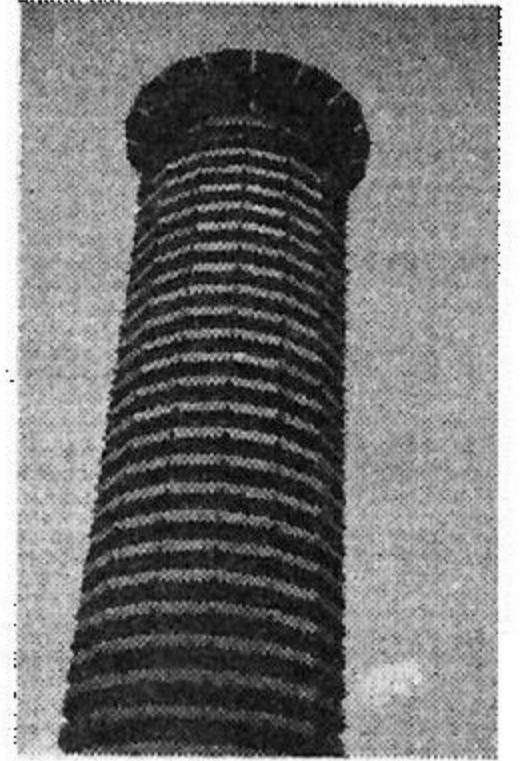


宗教—キリスト教、イスラム教、ヒンズー教、伝統宗教

\*住民—キクユ、ルオ、カンバ、カレンジン、マサイほか  
言葉—英語が公用語、スワヒリ語も共通語。  
そして各民族の言葉が使われています。

## 首都ナイロビとスラム

人口約180万人の大都市。貿易港モンバサと、ウガンダを結ぶ鉄道が走り、ヨーロッパやアジアへの航空路の中心となる国際空港があります。さまざまな工業が発展する一方、市街地の隣りに野生動物が住む国立公園があります。中心街は高層ビルが立ち並び、コンピュータでもファッションでも最新のものが売られています。



しかし近郊にはスラムが広がり、劣悪な環境の中で暮らす人たちが増え続けています。

主に工業地帯の奥、ルーベン・スラムの人たちの暮らしを聞いてみました。

## スラムの生活

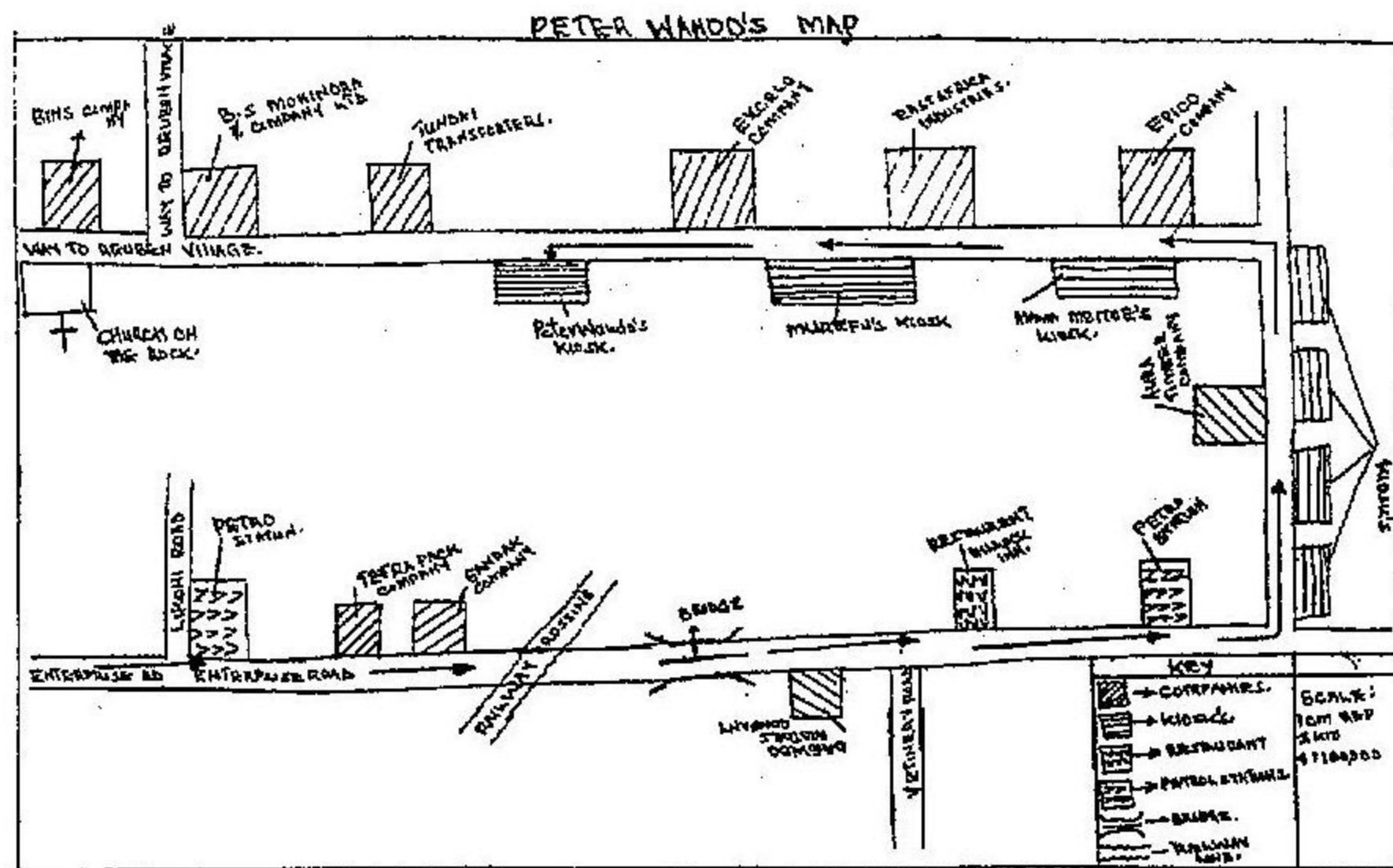
ルーベン・スラムは、ナイロビ駅近くのバスの発着所から「工業地帯ーゼネラル・モーターズー行き」の小型マタク\*にのって20分くらい。

下はスラムに住む高校生ピーターが書いた地図です。

工場(斜め斜線の大きい四角)の向いにキヨスクー小さな店ー(横線)が並び、ガソリンスタンドや食堂があり、露天(右)の店もあり、肉、野菜の食料品、古着や日用雑貨が売られています。



\*ワゴンやマイクロバスを使った個人が営業するバス。



## スラムの家と村の家

ルーベン・スラムの人口は約7000人。規模が大きい方のスラムです\*。ほとんど家が木材にトタンの作り。大きさは3~15メートル四方とさまざまです。間取りは1部屋だけがほとんどですが、2部屋になっている家もあります。家賃は1か月、500~1200 ケニアシリング(約1000~2400円)。

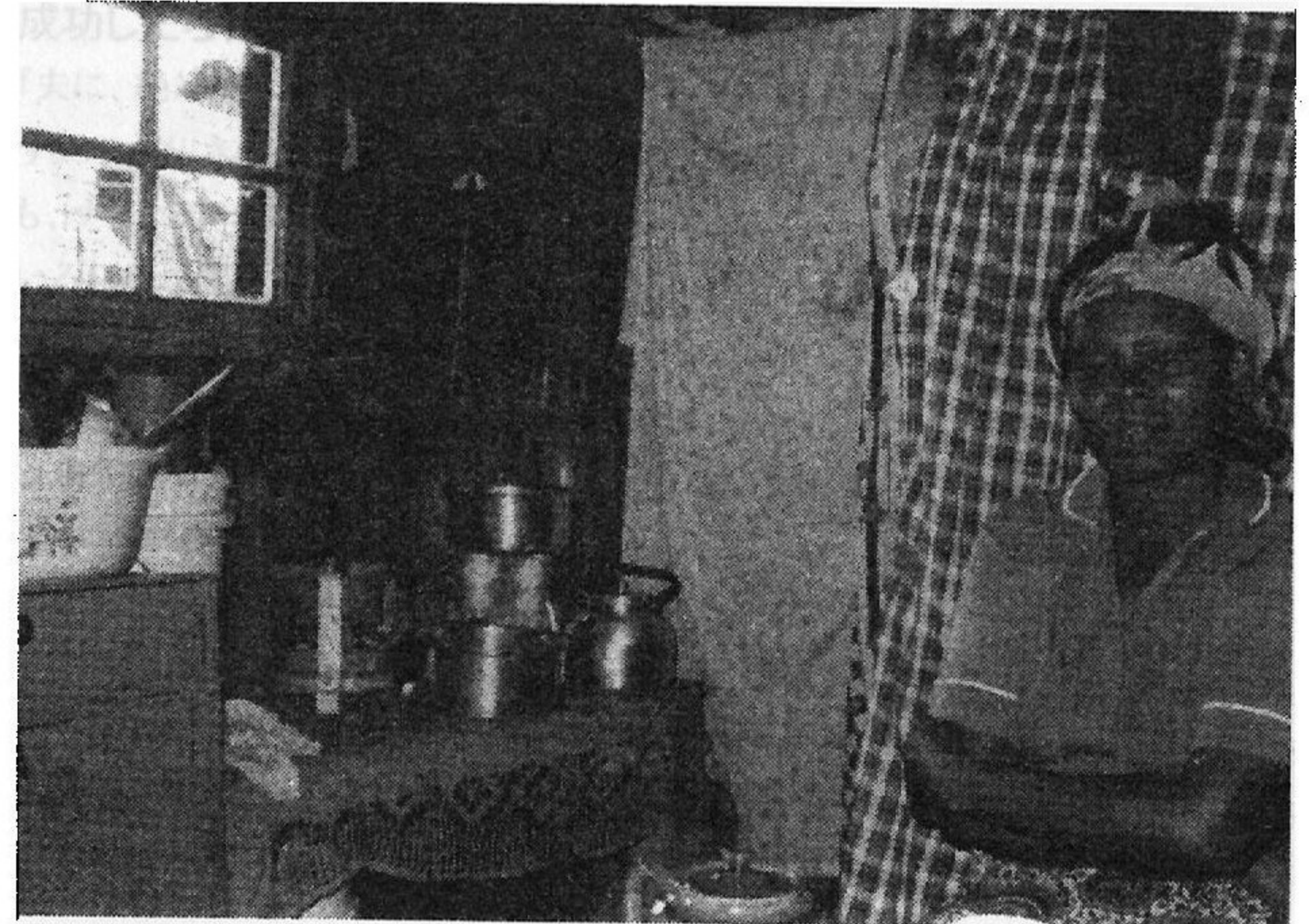
<参考>村の場合ー

ナイロビの北西20km 中央州のキアンブに住むグラディスさんの家は、材料は木材(製材の端材ではない)。母屋の広さは5.5m×11.5m。入口部分から土間になっていて、居間、母親\*\*の寝室、子ども部屋(ベッド2)、食堂兼倉庫、台所。長男(寝室と居間)と長女(寝室のみ)の住む別棟2棟があります。(資料提供:KEFRI 三島氏)

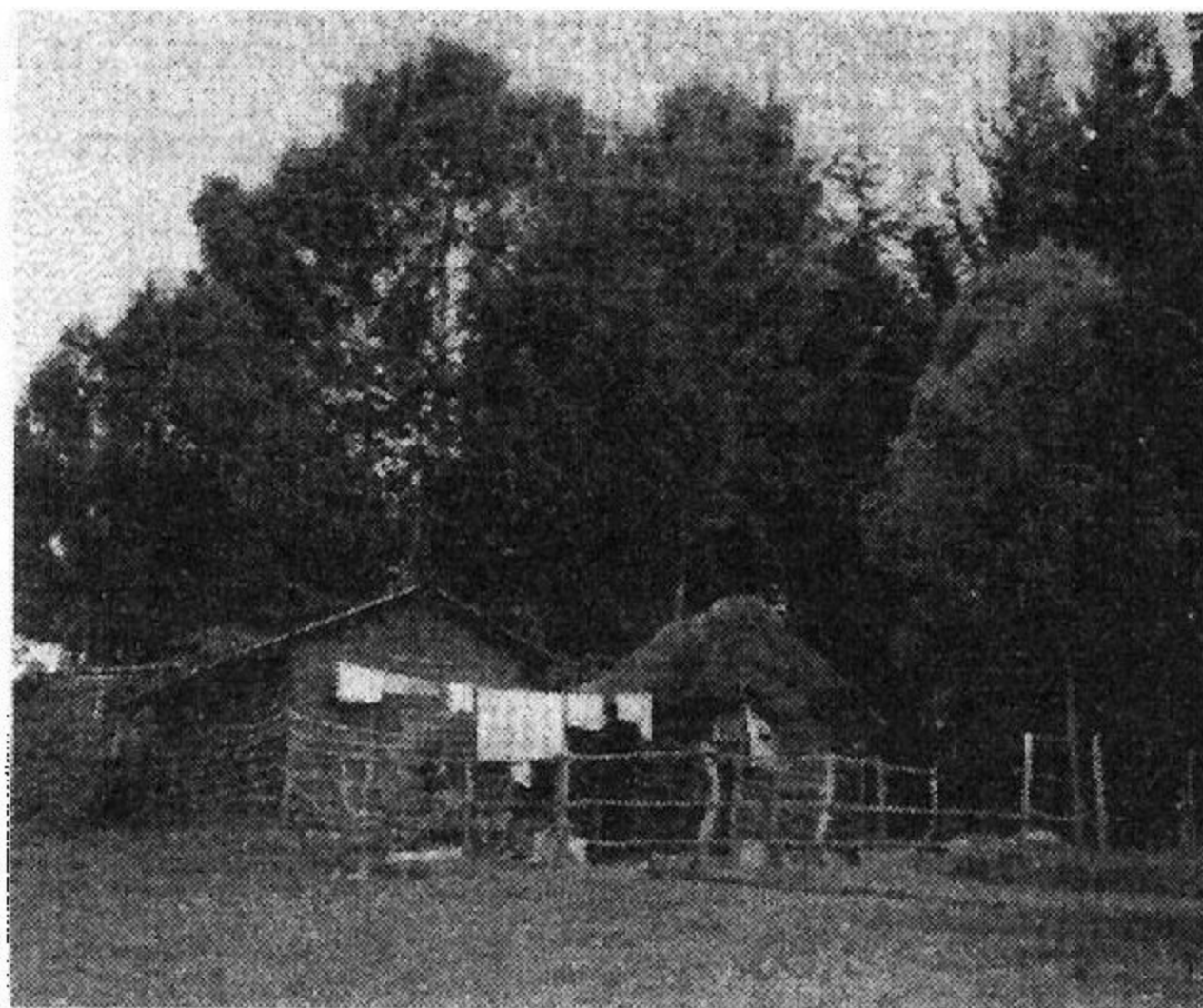
\*最大のキベラは人口20万人といわれています。

\*\*父親は病死。

写真はスラムの家



## 村からナイロビのスラムへ



その背景や将来などを11人\*に聞いてみました。

### ナイロビに出てきたのはなぜ？

写真屋をしているムウィティキさんの場合は仕事を探しに18年前にやってきました。アルコールを売っているンジェリさんは離婚が原因で、50キロ離れた村から出てきました。先に母親が住んでいたから、というンジョキさんはずっと無職でしたが、最近食べ物のキヨスクを開始。91～92年の複数政党制導入時の民族衝突\*\*で家と土地を失ったためという人もいます。

### 身分証明書(ID)の登録は村？ ナイロビ？

81年から住むンドウクさんは1979年にマチャコスにいるときに取得したIDをまだ使っています。これで投票も可能。半分以上の人はナイロビで登録しています。

\*近隣のスラム在住者を含みます。

\*\*居住していたリフト・バレー州では、まだ衝突が起こっています。

### 残した家族は？ 村の土地は？

土地を持っていない人がほとんどです。警備員をしているオニャンゴさんは、田舎の住まいは空き家になっている、といいます。工場労働者のワンプアさんは、故郷に妻と子どもたちを残しています。

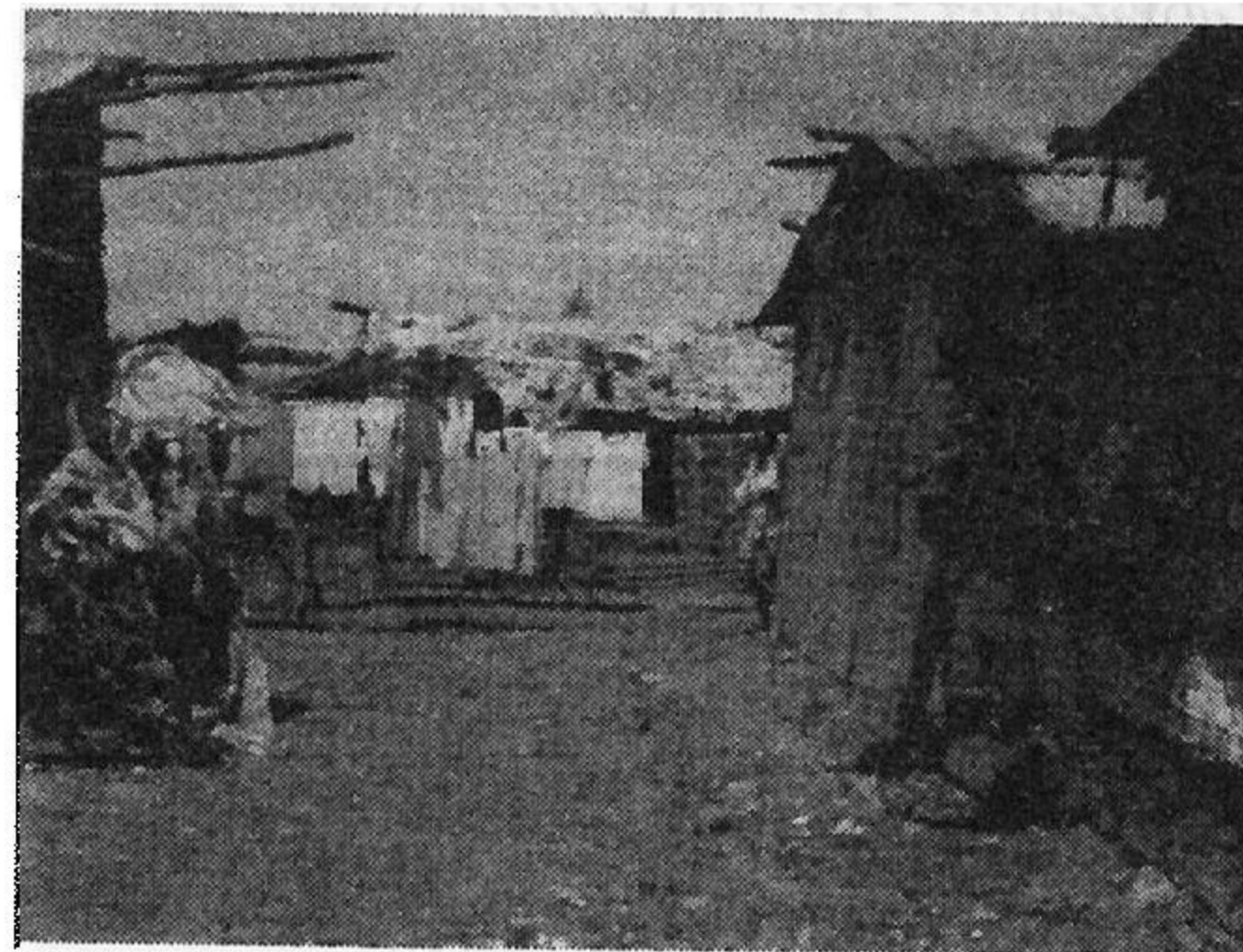
### 村に帰るのはどのくらい？

#### 村との通信方法は？

村に妻子が住むワンプアさんはときどき戻ります。1年に1回という人が多い中で、ワングリさんは3年に1回。でも子どもたちは毎年12月に帰郷しています。手紙を書くとともに、人づてにという方法がとられています。ワングリさんは、自分が行けないときは、息子を送るか、仕事でナイロビに来た親戚を通して連絡しています。

### 成功したら村に帰る？ ナイロビに住む？

「夫に、絶対戻ろうと頼むつもり」とンドウクさんはいいます。ワングリさんは、お金が回っていない田舎の家よりも、ナイロビのほうがいろいろな機会があるから居続けようと考えています。故郷には土地もないから、ナイロビに住むことを選ぶだろう、とキヨスクで販売をし、夫は町で新聞を売っているニヤムブラさんはいいます。



## 暮らしノート

### 水

ルーベンスラムには水のタンクがあります。そこからとった水を20リットル2ケニアシリングで売っています。

### 電気

電気を引いている家庭は少なく、バーなどのお店が使っているくらいです。テレビやラジオを流している昼間のバーは、子どもたちのたまり場。冷蔵庫を所有しているところはわずかです。

### 調理する燃料

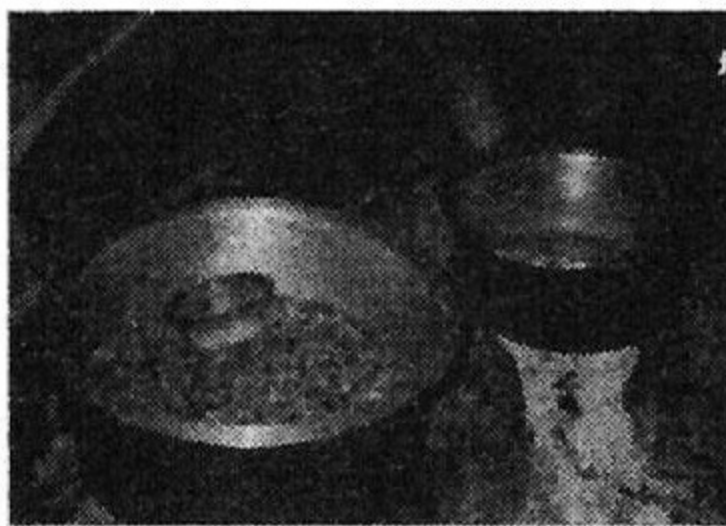
木炭は比較的高いので、使う回数を控え、灯油を使って調理する家庭が多いようです。

### 食事

ワンガリさんは朝に紅茶\*とパン、昼にウガリ(トウモロコシの粉をゆでてこねた主食)とスクマという青菜。夜はギゼリ(豆とトウモロコシを煮たもの)。すべて家でとります。オニャンゴさんは、朝、家でおかゆ、夜はウガリとスクマ。昼はキヨスクでギゼリを食べます。

ムウィティキさんは、朝も昼もとらず、夜だけウガリとスクマ。

朝は紅茶だけで昼はとらない人は他にもいました。



\*紅茶は一般に、イギリス風にミルクティー。呼び方はインドと同じで「チャイ」。

左の写真はピーターの母親が働くキヨスクの調理場で、なべにかけているギゼリ。

### トイレ

普通の家にはトイレはありません。平均して6~7軒の家庭で1つのトイレを共有しています(トイレはだいたい1~2年で壊れます)。各家庭でカギ(南京錠)を持っていて、使用するときを開閉します。家からはかなり離れていて、外灯のないスラムなので、夜行くのは怖いようです。

共用のトイレもない家では、スラム内の有料トイレを使います。使用料は1回2~5ケニアシリング(4~10円)。たいてい新聞紙か葉っぱを使っています(市販のトイレット・ペーパーは1個11~12ケニアシリング)。トイレのオーナーによれば、客がくるのは雨が降った時だけ。



### 診療所・病院

数百メートル以内のところに、簡単な診療ができる診療所があります。手術を要する病気、けがの場合は国立ケニヤッタ病院に行きます。

<参考>村の場合—

ナイロビのスラムへ流出する人が多い東部州ムイソリ郡ヌー郡のムイ区(人口1万人)では、看護師が常駐する診療所が1か所だけ。重症の場合に行く県立病院までは30キロの距離。

### 学校

ルーベン・スラムには現在、アイルランドのキリスト教系団体が経営する小学校があります。

## 結婚・家族構成・子どもたち

### 結婚式

スラムの女性18人結婚式に関するアンケートを行なって、7人が答えてくれた式のスタイルと費用は—

アグネス、ナンシー、ガブリエル、マーガレットの4人は伝統的なスタイル。(もう1人の)ナンシー、フィロメナ、サビナはキリスト教式。

後者の二人の費用は、衣装代(ナンシーは5000シリング、フィロメナは14000シリング)と食事(5000シリング、8000シリング)と交通費。フィロメナの費用は28000シリングになりましたが、プレ・ウェディングの収入が25000シリングになり大半をまかなえました。

伝統的な様式のアグネスの場合は、牛5頭と山羊4頭といった結納がありました。

### <参考>村の場合—

キクユの女性と結婚するために、男性が女性側に贈るべきものは—(資料提供:KEFRI三島氏)

父親へ…牛8頭、山羊10頭、鶏20羽、ビール(20本入り)6カートン、ソーダ飲料(20本入り)12カートン、スーツ(新品)1着、シート1枚。

母親へ…毛布2枚、なべ、コップの補充。金額にして18万シリング。この他に家の修繕を行ないます。

花嫁衣装は白いウェディングドレスを買ったり借りたりします。披露宴はハランペー\*によります。

(牛が8頭用意できない場合は、代わりに山羊を16頭用意します。この方が安いのですが牛を贈ったほうが尊敬されます)

\*ハランペーは、ケニアにおける住民の相互扶助の仕組み。地域でお金を集めて、結婚式、医療費の支払、学校や診療所建設などに使います。

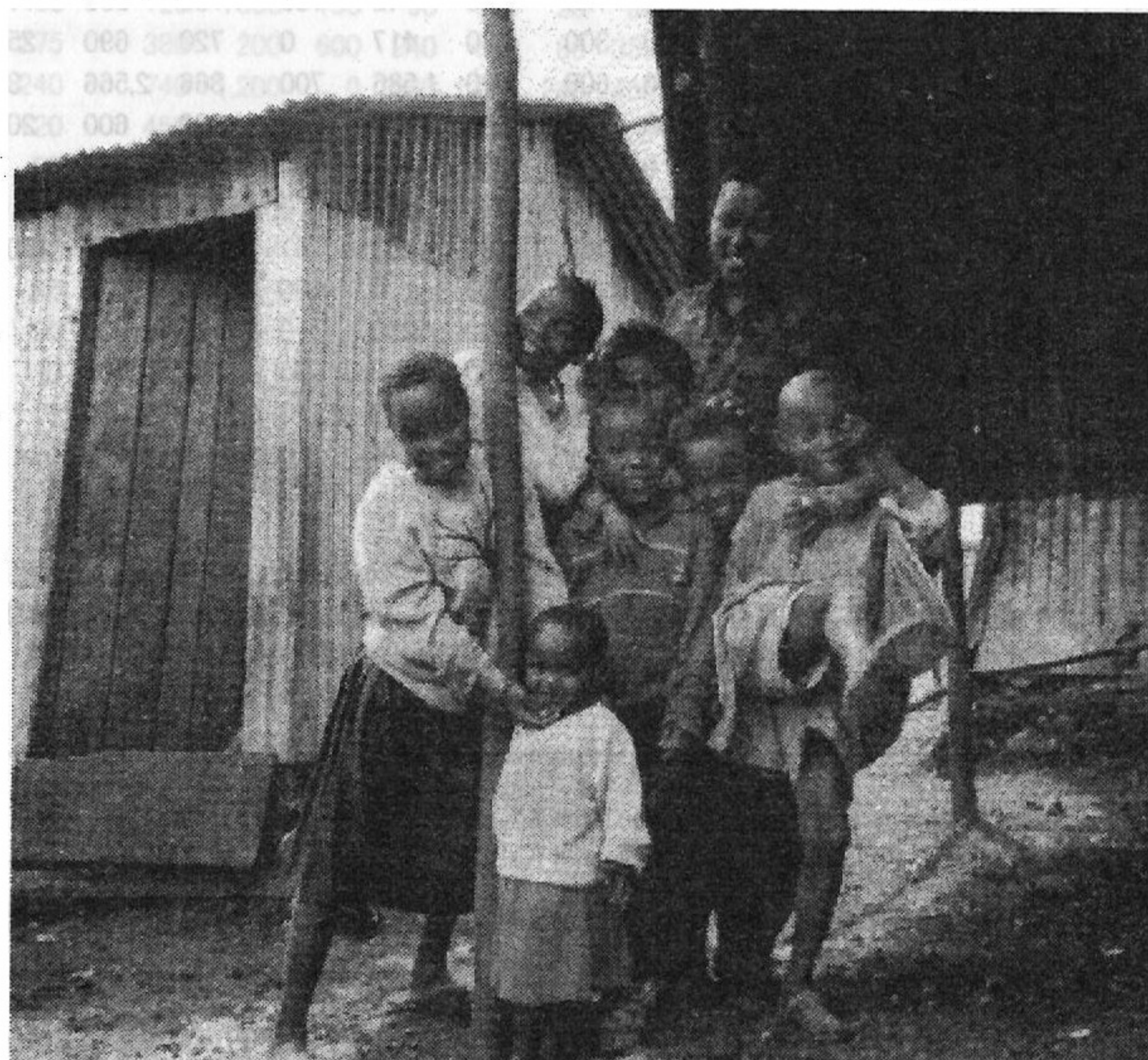
### 家族構成

シングル・マザーの家庭が多く、子どもの数は平均5人。

### 子ども

好きな遊びは圧倒的に多いのがサッカー。小さい子はいませんが、手伝いもしっかりしています。家事だけでなく、ときどきはキヨスクで売ったり、親の仕事にも助けています。

写真は調査に協力したコーディネーターのエバンスとルーベンの子どもたち。



# 収入と支出

ルーベン・スラムなどに住む 18 人に聞きました。

氏名	月収 (Ksh)	支出計 (月)	家賃	水代	燃料費	衣類	医療費	交通費	教育費	ハラントイレ ペー 使用料	食料費	米	小麦粉	ウガリ粉	野菜	果物	肉類	牛乳	卵	油類	とうもろこし	豆	塩	砂糖	紅茶	
R.K	3,000	4760	500	50	100	200	100	100	1,083	83	0	2544	70	0	380	300	80	240	600	50	160	224	160	40	200	40
M.N	7,400	5396	0	300	240	500	166	400	500	150	0	3140	320	320	460	420	200	240	280	0	200	120	190	100	240	50
S.N*	0	6850	700	90	660	166	0	300	1,666	83	0	3185	200	138	510	200	180	75	600	70	360	150	150	180	360	12
C.M	3,500	5360	800	200	240	420	134	0	942	200	0	2424	320	240	280	280	0	120	280	0	336	0	0	200	320	48
N.N	2,000	4802	400	60	440	167	100	750	600	83	0	2202	160	130	132	320	80	240	360	96	200	120	120	60	160	24
M.W	1,000	5171	0	225	360	100	250	0	1,666	300	60	2210	640	180	305	300	0	0	180	0	200	67	68	0	190	80
G.M	3,000	5799	500	120	160	42	166	1,100	500	117	270	2824	56	60	120	600	150	90	600	28	80	200	250	60	240	290
P.N	6,940	7429	1,000	300	360	417	0	720	690	250	0	3692	400	275	380	200	600	240	600	80	359	0	0	30	264	264
A.M**	14,520	14621	1,200	600	520	1,586	700	366	2,566	83	0	7000	400	240	740	1,200	0	560	1,200	240	400	0	0	300	1,500	220
M.K***	4,500	7483	1,800	0	200	333	400	800	600	200	0	3150	460	120	450	300	120	420	400	100	100	150	150	60	250	70
J.M	4,000	6726	0	120	300	166	42	1,500	833	0	0	3765	336	60	280	260	400	280	600	84	150	480	280	150	360	45
R.A	5,000	4995	1,000	150	480	250	0	100	1,000	0	0	2015	0	130	625	300	0	240	300	0	150	0	0	0	200	70
B.N	3,000	3194	0	150	160	250	67	0	683	500	0	1384	160	160	280	200	0	140	0	0	104	0	0	140	160	40
R.W*	0	3309	400	100	200	0	100	0	0	0	0	2509	160	60	400	150	120	60	80	28	155	240	388	240	388	40
M.N	4,000	3575	700	200	400	200	0	0	300	0	50	1725	100	90	240	200	50	280	140	0	195	0	0	50	320	60
S.L	4,000	5150	480	80	250	0	30	0	1,500	0	0	2810	0	0	1,980	350	0	0	0	0	150	0	0	30	240	60
N.M	6,000	4419	0	0	140	0	0	0	1,000	0	0	3279	240	0	1,440	240	100	280	520	0	199	0	0	0	160	100
LM*	0	4830	600	200	150	0	0	0	1,000	0	0	2880	640	520	305	560	0	240	160	0	105	0	0	0	150	200

\*月収ゼロは現在無職の家庭。月々の生活費は何らかの援助、ハランペー収入に頼っています。  
 \*\*レストラン従業員。月収および支出計(月)は、レストランでの諸経費を含む。家族はレストランで食事。  
 \*\*\*他地域のスラム出身者。家賃は水・電気代を含み1部屋1,800Ksh。

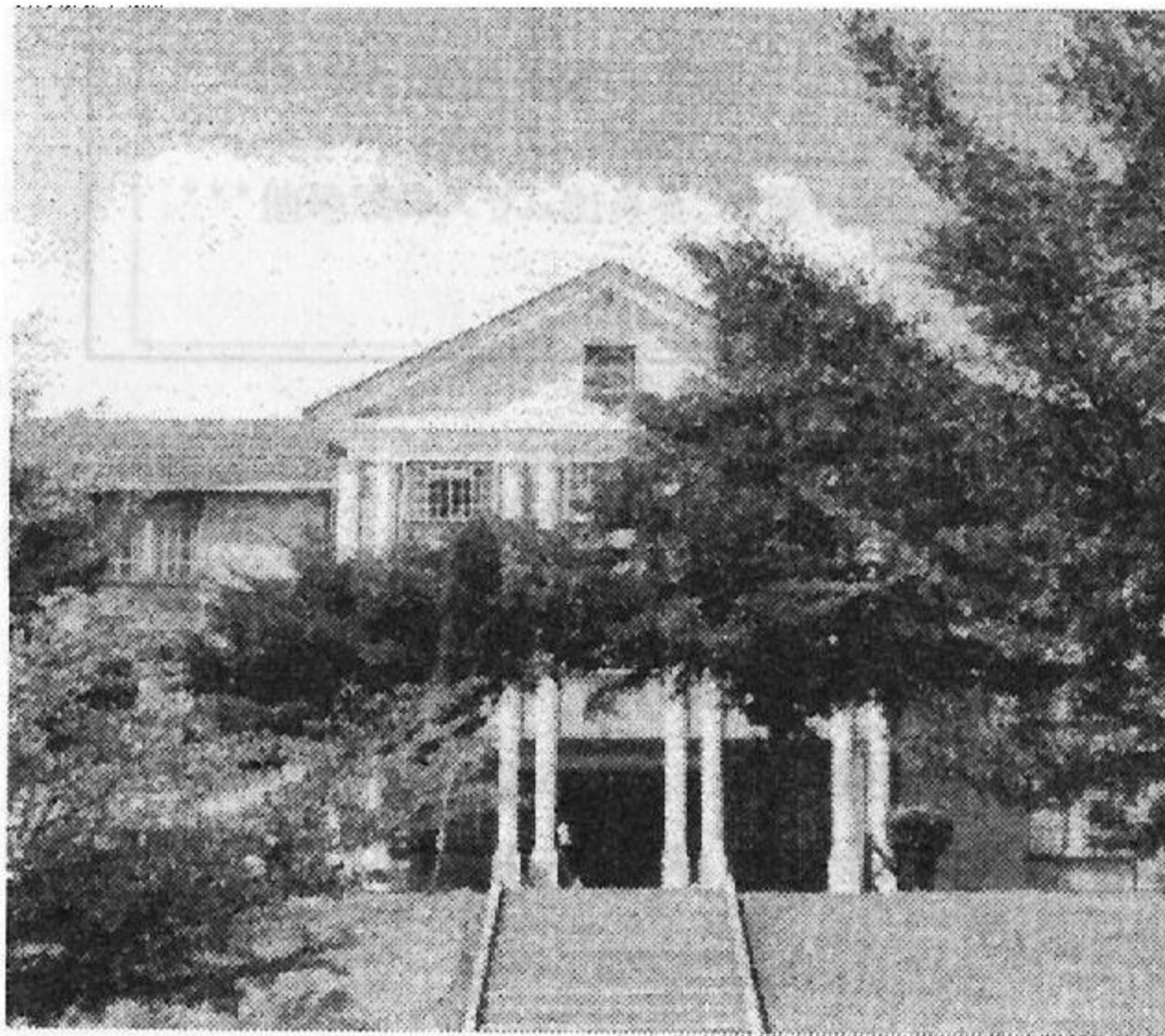
ルーベン・スラムの日用品の価格 1Ksh(ケニア・シリング)=約2円

木炭 1缶(約2回分) 20Ksh / 1袋 380Ksh / 灯油 1びん(コーラの容器) 10Ksh / マタウ 1乗り 10~30Ksh / 米 500g 20Ksh / ウガリ粉 1袋(1kg) 18Ksh / スクマ 1束 5Ksh / トマト 1個 1Ksh / たまねぎ 1個 2Ksh / ジャガイモ 1袋 5Ksh / にんじん 1袋 5Ksh / パナナ 1本 4Ksh / 牛肉 1kg 120Ks / 豚肉 1kg 100Ksh / 山羊肉 1kg 140Ksh / 牛乳 500ml パック 20Ksh / 卵 1個 5.5Ksh / トウモロコシ 1本 5Ksh / メイズ(乾燥) 1kg 40Ksh / 豆(インド産) 1kg 60Ksh / 豆(ケニア産) 1kg 50Ksh / 砂糖 1kg 49Ksh / 紅茶 1袋 5Ksh \*食パン(上の表には含まれていません) 1斤 20Ksh



## ケニアの教育

ケニアの子どもは6歳になると小学校に入学し、8学年の初等教育を受けることになっています。次に4年制の高校に進みます。大学\*も4年の8-4-4制です。小学校で学ぶ年齢の子どもの就学率は77.5%と推定されていますが、中途退学率は50%以上(女子65%)になります。また卒業できた生徒のうち高校に進学する率は42%となっています(世界銀行の92年度調査及びケニア政府の発表より)。世界銀行・IMF(国際通貨基金)による構造調整政策下にあるケニアでは、教育に対する政府の支出が制限されています。現在、政府は公立学校の教員の派遣をし、その給料のみ負担する、ということになっています。校舎建設・修復費、学校運営費、給食、教科書、制服代などは全て保護者の負担になっています。この負担の重さが未就学あるいは中途退学率の高さにつながっています。



ナイロビにあるステイト・ハウス女子高校の正面。ここはナイロビ随一の女子進学校です。

\*1994年にケニアで5番目の国立大学となったジョモ・ケニヤッタ農工大学に対して、82年の設立時から日本のODA(国際協力事業団)が協力しています。

## 高校生活

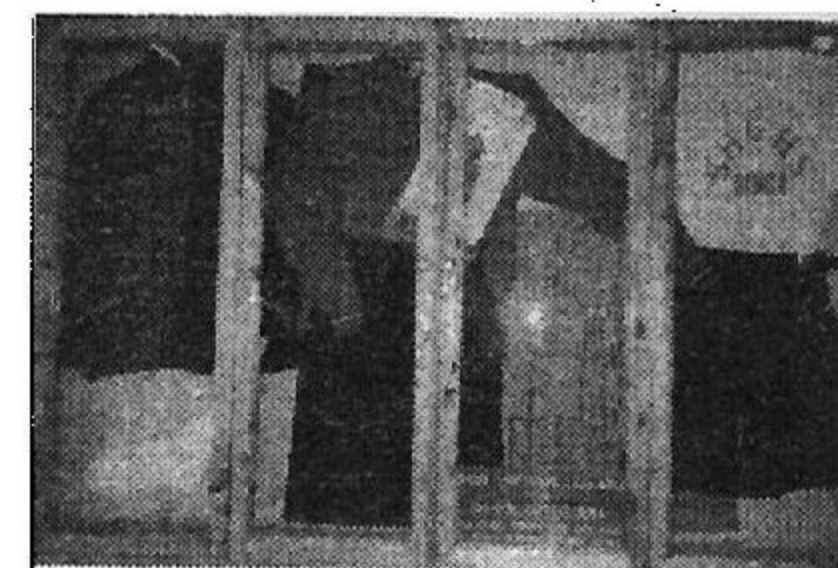
スラム奨学生とその家族に聞きました。

**学費** 1年間約14000~40000ケニアシリング。スラムに住む人たちの年収\*にあたるということもできます。半分を1学期に支払い、2・3学期合わせて残りを払います(寮制の高校のほうが多く、寮での費用は大きな比重を占めています)。基本的には学期初め、場合によっては学期の前に払います\*\*。

KIRIMARA HIGH SCHOOL		
P.O. Box 51	KARATINA	TEL. No. (0171) 71262
No. 8303		Date 4/21/98
Admission No. 6473		Class SX
Received	Antony Wainana Kingi	
The sum of Shillings	Eight thousand Nine hundred Ninety Shillings	
being payment of:-	Shs.	Cts.
Tuition Fees	1500=	
Boarding	2000=	
P. Emoluments	1000=	
Activity Fees	175=	
Caution Money		
Medical Fund	150=	
Contingencies	200=	
Examination Fund		
E.W.C.	600=	
LT&T	400=	
R.M.I.	500=	
PTA-SUB	220=	
Dev. Fund	1600=	
Total Kshs.	15900=	

KS No. 8995  
K.O. 000004

Web Desk  
Signature  
For Kirimara High School



\*年収12000~36000ケニアシリング。

\*\*キリマラ高校(ナイロビの北ニエリ)の領収証でみる学費の内訳

Tuition Fees 授業料  
Boarding 寮での食費、光熱費ほか  
P. Emoluments 調理人、運転手等の賃金  
Activity Fees スポーツやクラブ活動費  
Medical Fund 簡単な治療費  
Contingencies 予備費  
E.W.C. 光熱費(電気、水道)  
LT&T 遠足や試合の時の交通費  
R.M.I. 維持管理費  
PTA-SUB PTA会費  
Dev. Fund 施設拡充費

上の学費のほかに制服代の負担があります。ケニアでは公立の小中学校でも制服着用となっています。左はステイト・ハウス女子高校で。

## 教科と年間スケジュール

科目はスワヒリ語、英語、数学、生物、物理、化学、歴史、地理、宗教、道徳、ビジネスまたは会計、選択で農業、木工、図工・デザインがあります(3・4年生は文系・理系に分かれます)\*。

卒業前にケニア国家統一中等教育試験(KCSE)を受けることになっていて、高校の勉強のほとんどがこの最終目標に焦点を当てている観があります。

1998年

◆1月12日前後—1学期始業(学校によって異なる)

◆4月3日ごろ—終業。イースター休暇開始

◆5月4日—2学期始業◆8月7日—終業。8月休暇開始

◆8月31日—3学期始業◆11月20日—終業



\*小学校2年生では英語、スワヒリ語、算数、理科、社会、図工・音楽、宗教教育(キリスト教、イスラム教、ヒンズー今教)、そして地域によってはそこで使われている民族語を学びます。

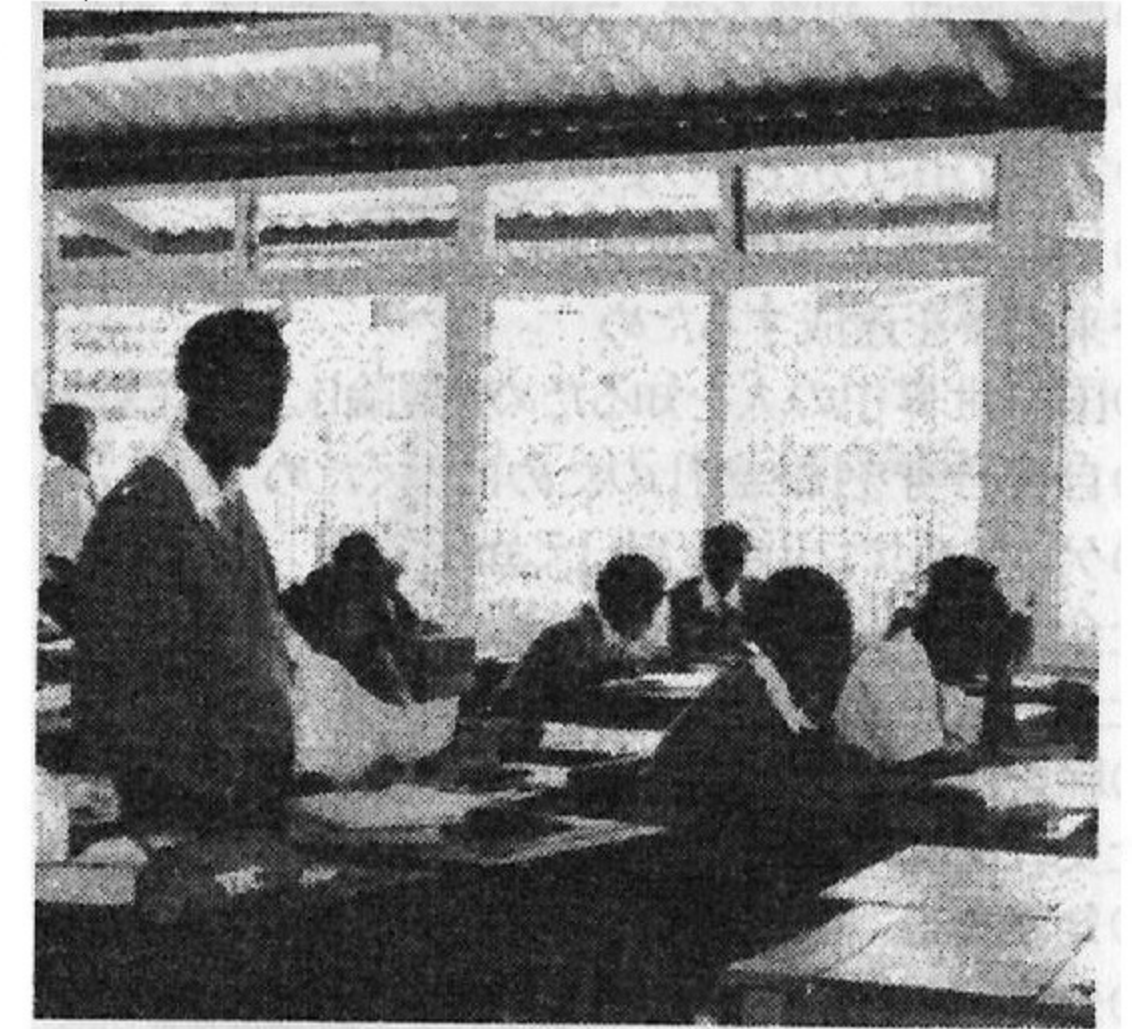
写真はステイト・ハウス女子高校の図書室(蔵書は少ない)

## 1日の時間割

ナイロビの北東80kmのマクユ高校(男女共学)\*

写真は2点ともステイト・ハウス女子高校で

7:30 月、金は行進  
火、水、木は朝礼  
8:15~8:45 1時限  
8:45~9:25 2時限  
9:25~9:35 休憩  
9:35~10:15 3時限  
10:15~10:55 4時限  
10:55~11:35 紅茶休憩  
11:35~12:15 5時限  
12:15~12:55 6時限  
12:55~午後2:00 昼食  
2:00~2:40 7時限  
2:40~3:20 8時限  
3:20~4:00 9時限  
—  
9:30-10:20 クラブ活動



調理室



## 自由時間の過ごし方

男子 サッカー、おしゃべり

女子 ホッケー、バスケットボール、おしゃべり

夜、寮での時間に、ラジオを聴いたり、トランプなどで遊んだりすることはあまりないそうです。おしゃべりするほかは、靴をみがいたり、ワイシャツにアイロンをかけたり、宿題をしたりと翌日の準備をしています。

\*マクユ高校の食事

(月~金)

朝食 紅茶

昼食 ギゼリ

夕食 ウガリーキャベ

ツと肉の煮込み添え

## 学校へ行く理由と 中退・転校する理由

### 行く理由\*

- 夢を達成、知識を得、コミュニティで受け入れられるため
- 友達を作り、勉強し、議論し、スポーツをするため
- 家具の作り方などのような身につく技術を得るため
- 知識を得、ケニア・世界の人々に会い、将来の夢を達成するため
- 国や世界中の人を知るため。議論しよい将来を得るため
- 自分自身を国・会社のために磨くため
- ケニアやアフリカをよりよく知り、社会の責任ある一員になって、社会の貧困・病気そして汚職を無くすため
- 職を得、地域や社会をよりよく知り、社交性を身に付けるため
- 知識を得、他人に勝るため
- 知識・技術を得るため
- 将来のための知識を得るため
- よい職を得、責任ある社会の一員になり、他人を助けるため
- 知識を得、将来何かを達成するため
- 他人と交わり、よい職を得、自分自身や子どもの世話ができるように
- キャリアを得て、世界や国をよりよくし、旅行し、助けるため
- 勉強して、本を読むため
- 知識を得るため
- 知識や技術を得、他人を理解するため

### 中退・転校の理由\*\*

- 校内の水不足○食事への不満○設備への不満
- 寮生活への不満(通学校へ転校)○教師への不満
- 結婚○出産

\*26人へのインタビューで、答えた生徒は18人

\*\*答えた4人が学ぶ高校では、やめていった生徒数が10人、4人、6人、14人でした。

## 高校生と家族の プロフィール

### グレース

ステート・ハウス女子高校

4年生

趣味—フィールドホッケー・陸上・水泳

好きな教科—物理・化学

嫌いな教科—歴史

好きな食べ物—ウガリ・ギゼリ・米

将来の夢—心臓外科医・医者・フィールドホッケー選手

家族構成—母、3人姉妹の長女

学校に行く理由—国や世界中の人を知るため、議論し、よい将来を得るため

クラブ活動では、ホッケー部キャプテンを務めるほか、恵まれない人への援助を行なう「ヘイ Y クラブ」に入っています。スラムの劣悪な環境に対しては、住むのには過酷なので、解消するような動きを生み出していけたら、と考えています。



## アレックス\*

タラ高校(東部州の州立高校・生徒数約 1000 人)

4年生。3年生2学期の報告の一部を紹介。

「第3学期は順調に始まりました。私自身は1週間遅れての登校となりました。盗まれたマットレスを探すことなど問題もありましたが、みんなに追いつくことができました。

しばらくして、音楽大会が始まりました。私はスワヒリ語の詩の朗読で県大会まで進みました。(中略)学期末を前に、ムシヨカ教育大臣を招待して、保護者の日の催しがありました。大臣は学校の施設拡充費に10万シリング寄付してくれました。

8月5日の終業式では、校長が制服の一部変更を発表しました。…」



\*趣味—コンピュータ、  
ホッケー、レゲエ、ラッ  
プ音楽鑑賞

ALEX - MUTUNGA  
TALA HIGH SCHOOL

2<sup>ND</sup> TERM REPORT

The second term began well—although I went to report a week later. I caught up with the other students—even though there were some few problems here and there—my feeling for my mattress which had been stolen. After all I got it.

Come some few weeks past the term, the music festivals began. (Me) I was in a Kishwani coral verse which we represented up to the District level. The school took many items to the provincial level and three other items to the national—eg band and chorus too songs. In the ball-games we played soft ball for the first time and we were beaten in the divisions. In the football we were beaten in the District level finals. The volleyball went to the provincial level.

After that the teachers strike came. We went home for three days and went back. Before that we had also gone for our mid-term rest two weeks before.

## フレシア



中部州の小さな町、カルリにあるシニア・チーフ・コイナンゲ高校の3年生。この高校は男女別のクラスになっていて、1学年7クラス。

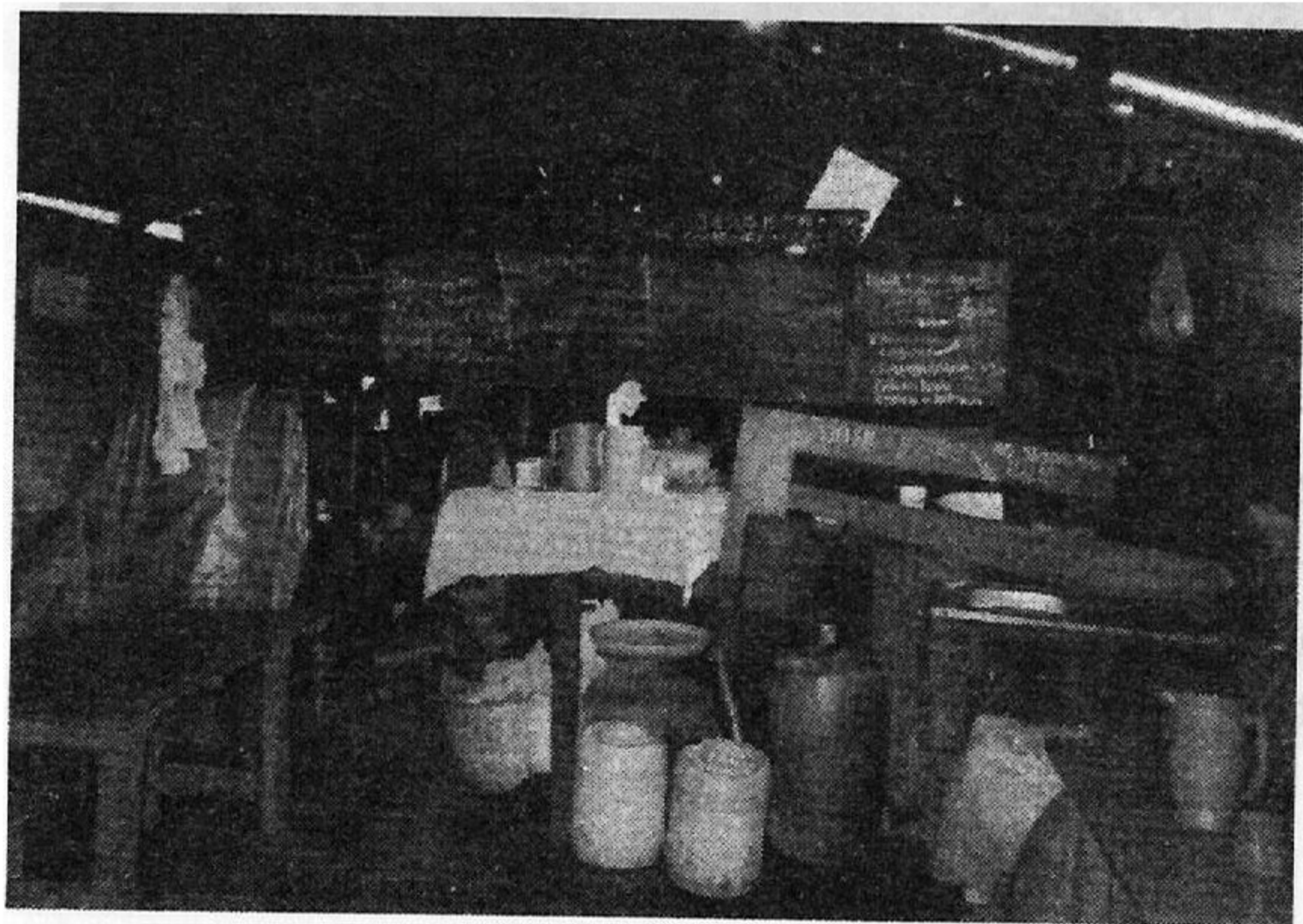
フレシアの趣味はバレー・ボールとキリスト教クラブ、歴史。好きな食べ物は米とチャパティ(インドの薄焼きパン)。家族構成は、父母、3人姉妹の2番目。写真は村の祖父母の家で、右は祖母。



## ピーターとその母親

西部のビクトリア湖に近いカカメガのブテレ男子高校の4年生。好きな教科は化学と地理です。2年生の2学期の報告に、学級委員長を対象にした紙工場の見学に行ったこと、物理の校外授業で、近くの女子高校に行き「熱容量」について議論したことをつづりました。

ピーターは6人兄弟の3番目。母親はスラムにはとても多いシングルマザーの一人です。現在、スラムにある軽食堂\*の運営を任されています。けれども、常連客の大半が勤める近所の工場が一時期閉鎖されたため、そのあおりを受けて、収入は減っています。下の3人の兄弟はまだ幼いため、母親は子ども達に軽食堂で早目の食事を取らせ自宅に帰した後、また働きます。ピーターも休みの期間は母親の働く軽食堂で皿洗いや片付けの手伝いをしています。保護者会では積極的に発言し、子ども達の教育にも熱心なたくましいお母さんです。



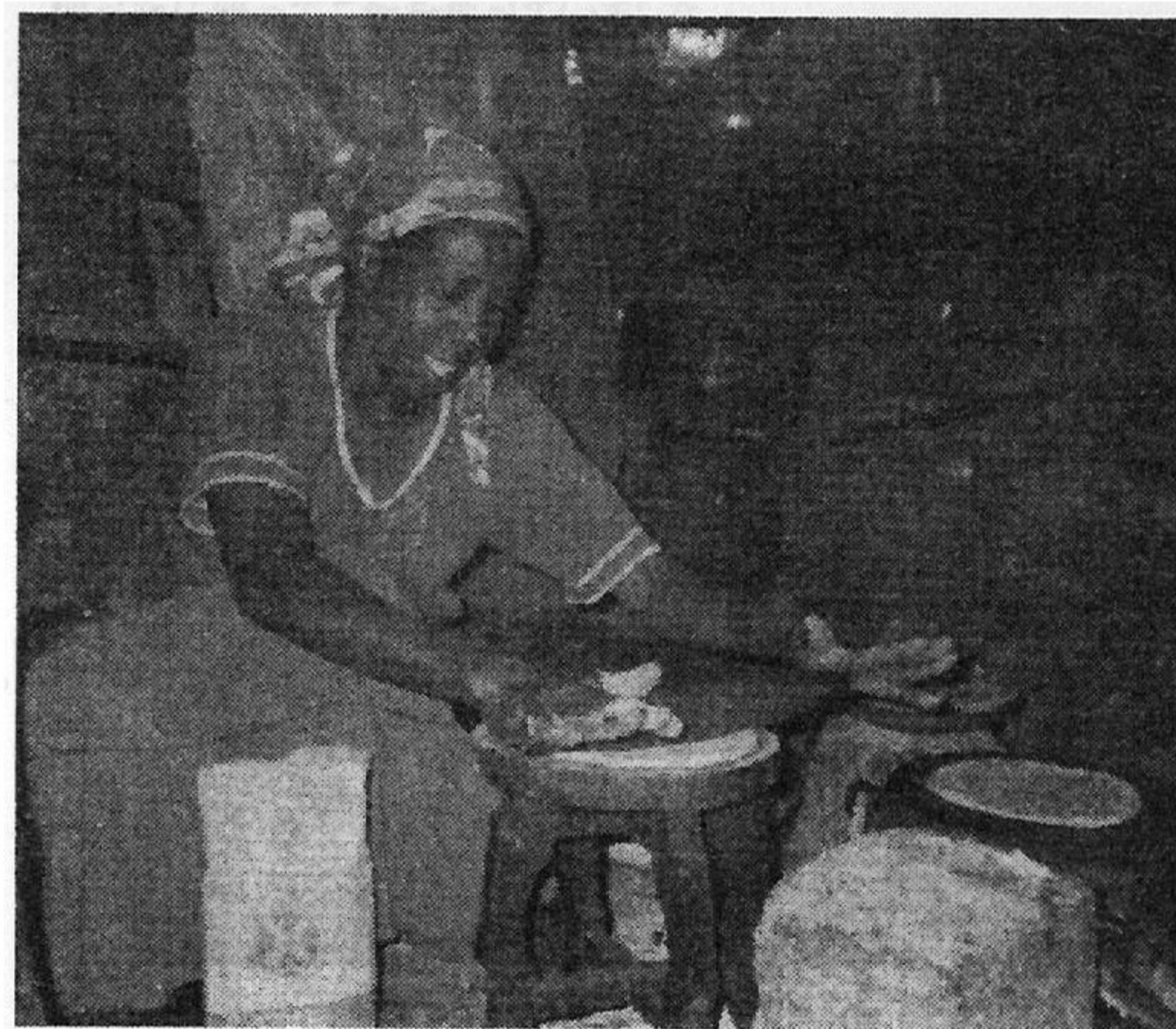
\*5 ページのピーターの地図で、上の通り、工場の向いに左端の教会から少し離れて次にあるのが母親の軽食堂。写真は店内の様子。

## アンとその母親

アンの両親は田舎にいます。自分たちの畑で作業する他に、現金収入を得るため、近隣の農家でも1日70Kshで働いています。けれども、最近では仕事のあつた日の方が少なく、ほとんど収入を得られない日々が続いています。また昨年のエルニーニョの影響でアン一家の畑も大きな被害を受けました。そのため、今年からアンも全額給付生\*\*に加わりました。田舎からナイロビまでは交通費が約400Kshもかかるため、両親はめったにアンと会うこともできません。

母親が作る食事は、いつもは畑で収穫したキャベツやじゃがいも、トウモロコシを使ったもの。現金が入るとウガリやチャパティが加わります。今回の調査で訪れたとき、チャパティを作ってくれました。

\* CanDoは奨学金を保護者の部分負担を原則としています。



## メアリーとその母親

メアリーはナイロビの北ニユリにあるチンガ女子高校の3年生。

趣味—旅行・映画、音楽鑑賞・水泳

好きな教科—歴史・商業。嫌いな教科—物理

尊敬する存在—神。好きな食べ物—チャパティ

将来の夢—アナウンサー

学校へ行く理由—知識・技術を得るため

家族構成—母、3人兄弟の長女

メアリーの母親もシングルマザーです。15歳の時にメアリーを出産し、現在は3人の子ども達を育てています。年齢が15歳しか離れていないためか、メアリーとは姉妹のように仲のよい親子です。長女のメアリーは、家では母親の手伝いも積極的に行っているようです。

母親の実家は比較的裕福で、一つの敷地内に3世帯の家族が同居しています。けれども「結婚した娘は実家

を出なければならぬ」というしきたりにより、結婚後は実家を離れ、スラムでの生活を余儀なくしています。

現在は定職についていないため生活も苦しい状況ですが、明るさとたくましさで子どもたちを育てています。



## 調査を終えて

今回、スラムでの調査を始めたのは11月。ちょうどケニアの小雨季が始まる時期でした。スラムの路地はぬかるみ、そこら中のトイレから汚物が流れてきていました。そこを小さな子どもたちが裸足で走りまわっている姿が目にとまりました。

5か月にわたる調査の後半はほとんど雨が降らず、ケニア全体が厳しい状況

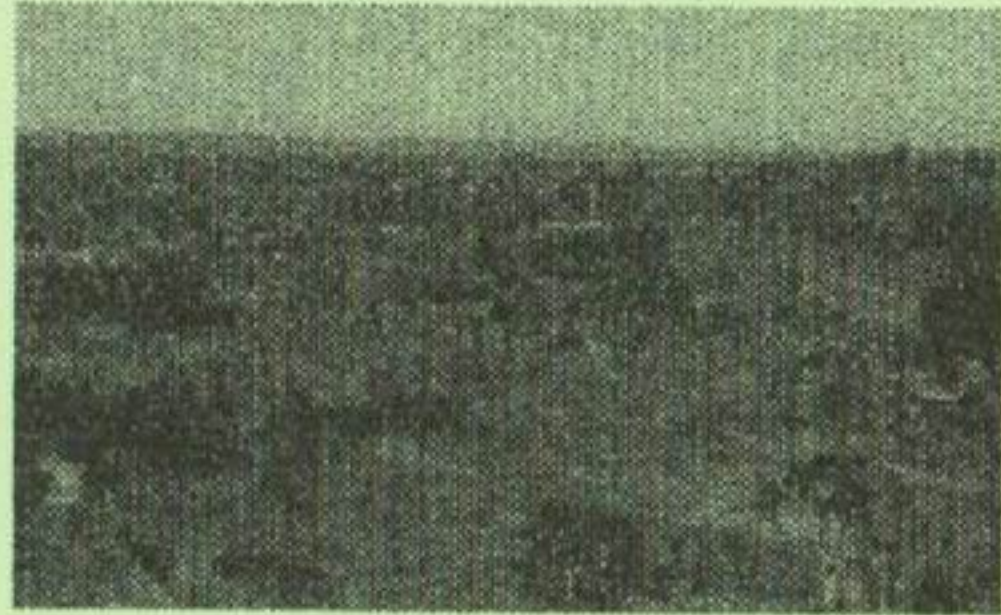
に置かれていました。村落部に行くと、牛の値段が山羊並みに下落していました。水不足に悩まされていました。スラムの中は蒸しかえるような暑さで、なんとも表現ができない熱い空気に包まれていました。その中でやはり小さな子どもたちが裸足で走りまわり、地べたに座ってご飯を食べていました。

スラムでも村落部でも生活が苦しい状況に大きな差はないといえますが、子どもたちを育てる生活環境、特に衛生面はスラムの方が悪いでしょう。それでも、子どもたちに教育を受けさせるため、職を求めてスラムに移り住む人たちは後を絶ちません。私たちが支援する高校生たちも親の期待を一身に背負って進学しました。途中、中には結婚退学するケースもありましたが、それぞれが自分たちの道を探し求めている途中です。

将来、スラムの子どもたちに希望を与えるような存在になってくれることを祈っています。

調査員 津嘉山奈央子





写真は  
ケニアの村で

この事業は、財団法人東京都国際交流財団の助成を受けています。

CanDo はアフリカにおける開発協力活動を通して、地域に住む人たちと共に、より豊かな社会を実現していこうとしている NGO(民間協力団体)です。  
ケニアの東部州において、小学校への教科書配付などの教育支援に取り組み、ナイロビのスラムで高校生への奨学金事業を行なっています。

〒113-0022 東京都文京区千駄木 3-25-6-302

電話・FAX 03-3822-0595 Eメール [tam-tam@t3.rim.or.jp](mailto:tam-tam@t3.rim.or.jp)

銀行口座—富士銀行動坂支店

普通預金 4288010 ルーベン奨学金基金 代表 永岡宏昌

発行日 1999年4月22日

発行 CanDo—アフリカ地域開発市民の会